

## 珪藻類の発生予察によるノリ色落ち被害防止技術の開発

近年、東部瀬戸内海では、栄養塩（特に溶存態無機窒素；DIN）の減少に伴うノリの色落ちが発生し、大きな被害を受けている。DIN 濃度の減少要因の一つとして、珪藻類のユーカンピア (*Eucampia zodiacus*；(図 1) ) による DIN の消費がある。水産研究所では、本種の密度や分布について情報提供を行っているが、消長の予察ができないため、「DIN 濃度の中長期的な変化を考慮しながらノリ養殖を行いたい」という現場の要望に十分に対応できていなかった。

そこで、昨年度から 5 ヶ年計画で大阪府、兵庫県、香川県、徳島県、(独)水産総合研究センターと岡山県が共同でユーカンピアの発生予察技術の開発を目的とした事業を開始した。

事業の流れは図 2 に示したとおりであるが、今回は、昨年度解析が終了した 1. の結果について紹介する。

平成 12～24 年度の大阪府、兵庫県、香川県、徳島県、岡山県におけるユーカンピアの発生状況を見るといずれの府県でも年によって発生したり、しなかったりすること分かった(表 1)。また、平成 17 年度、23 年度のようにほぼ全ての府県で発生する年があること、18、19、22 年度のように、ほぼ全ての府県で発生しない年があることがわかった。これらの結果をもとに、本年度は 2. とし、発生年、非発生年に対応する特徴的な海況に

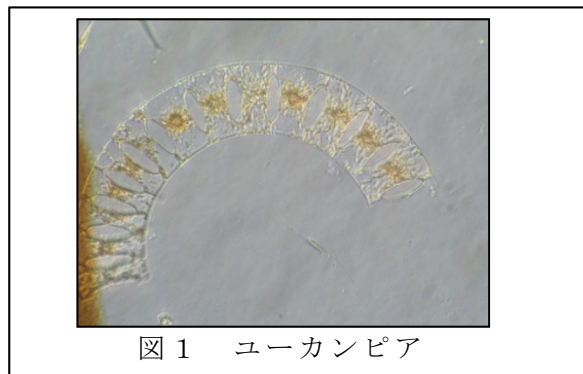


図 1 ユーカンピア

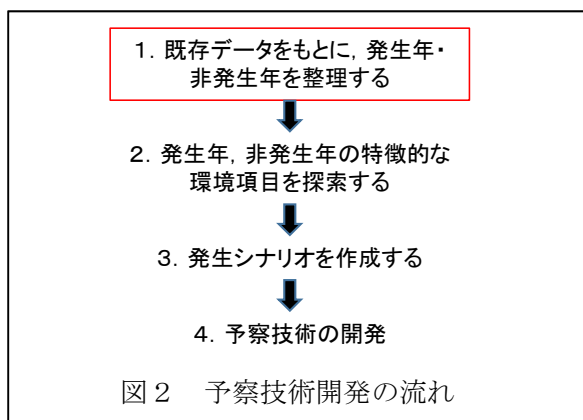


図 2 予察技術開発の流れ

ついて調べている。

まだ予察技術の開発に向けてスタートしたばかりであるが、最初のハードルを超えることはできた。今後もデータの収集と解析を行い、養殖現場に役立つ技術の開発に努めていきたいと考えている。(水圏環境室：高木)

表 1 各府県における年度ごとのユーカンピアの発生状況(発生年、非発生年の基準については、それぞれの機関の基準に従っている)\*

機関\年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
兵庫県	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○
岡山県	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○
香川県	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×
徳島県	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○
大阪府	○	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×

○：発生年，×：非発生年

\*：「水産庁委託事業瀬戸内海東部海域におけるノリ色落ち原因珪藻の出現諸特性の解明と発生予察技術の開発」の平成 25 年度の報告書の一部を抜粋，改変したものである。